

電動工具で組み立てカンタン

# 「入籠式テーブル」を作ろう

テーブルにもディスプレイ台にも  
用途いろいろ、収納もコンパクト



段々に並べても、単独で使っても…使い方は自由自在。  
収納にも省スペースで便利な「入籠(いれこ)式テーブル」。(作り方は次ページ)

大・中・小、3つのサイズの入籠式テーブル。3つ合わせて使うのも、  
別々に使うのも自由で使い勝手バツグンです。重ねて収納できる入  
籠式なので、場所もどりません。電動工具があれば、組み立てカンタ  
ン。いっしょに作ってみましょう。制作の指導は、島忠ホームセンター  
和光店。工具協力は、松下電器産業の「マイジヨイ」シリーズです。



【電動工具】①充電パワーカッター  
②充電ドリルドライバー  
③充電インパクトドライバー

【工具協力】松下電器産業(株)



ホームセンターで、  
こんな材料、用具を準備しましょう



電動工具を使うと、テーブル3台の組み立てもアツという間！

# 仲良し一家、3世代女性チームが頑張る ステキなインテリアに、「入籠式テーブル」作り

「入籠(いれこ)式テーブル」

●アドバイス 島忠ホームセンター和光店  
D-I-Yアドバイザー 加藤さん

「えっ、3台も作るの?」……でも、ご安心を！  
電動工具のパワーで、女性にもカンタンにできる



今回、パコマD-I-Y教室に参加した毛塚さん一家は、読者スタッフの理絵さんとお義母さまのカオルさん、8歳の心優(みゆう)ちゃん。8カ月の誠己(まさき)くんもベビーカーに乗った応援隊です。仲良し一家の女性3世代チームで、元気に取り組みました。理絵さんは、以前から電動工具には親しんでいますが、最新モデルの「マイジヨイ」シリーズを見て、「こんなに使いやすく見た目もおしゃれになつたんですね」とピックリ！



「さあ、教室開始！作業の順序は…」と  
D-I-Yアドバイザーの加藤さん。



「私にも使えるかな？」とパワーカッターは初めての理絵さん、最初はちょっと緊張ぎみ…。

## ドリルドライバーとインパクトドライバーで 穴あけもネジ締め作業も、スイスイ進行！

最初に、D-I-Yアドバイザーの加藤さんから、組み立ての手順や工具の扱い方の説明を受けて作業スタートです。

最初に、D-I-Yアドバイザーの加藤さんから、組み立ての手順や工具の扱い方の説明を受けて作業スタートです。

最初に、D-I-Yアドバイザーの加藤さんから、組み立ての手順や工具の扱い方の説明を受けて作業スタートです。

●パコマ読者スタッフ  
毛塚理絵さんとお義母さまのカオルさん、  
心優ちゃん(3歳)、誠己くん(8カ月)／埼玉県戸田市

パワーカッターで木のカットはアツという間に終了。次は組み立て作業です。ネジ締めの部分にはすべてドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあけます。こうすれば、長い木ネジ締めもラクにできて板が割れる心配もありません。今回の作品は、ネジ跡を隠すためのダボ仕上げにするため、ドリルドライバーの木工用ビットで大きな穴をあける

穴あけもネジ締め作業も、スイスイ進行！

パワーカッターで木のカットはアツという間に終了。次は組み立て作業です。ネジ締めの部分にはすべてドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあけます。こうすれば、長い木ネジ締めもラクにできて板が割れる心配もありません。今回の作品は、ネジ跡を隠すためのダボ仕上げにするため、ドリルドライバーの木工用ビットで大きな穴をあける

穴あけもネジ締め作業も、スイスイ進行！

シリーズのニューモデルで、スイッチ・オフの状態で手締めもでき最後の一締めが確実にできるというスグレモノ。

木ネジを締めるインパクトドライバーは、上からたたき込むハンマー機能とネジ締めパワーを同時に発揮する頗もしいヤツ。女性の手でも木ネジがラクに締まります。次に、木ネジの上からダボを打ち込み、飛び出した部分を木面のツラに沿ってノコギりで切り落とすと組み立てはほぼ終了。脚部の強度を増すため、脚の下部に丸棒を通して、デザイン効果も高めます。ダボ打ちは初め

シリーズのニューモデルで、スイッチ・オフの状態で手締めもでき最後の一締めが確実にできるというスグレモノ。

木ネジを締めるインパクトドライバーは、上からたたき込むハンマー機能とネジ締めパワーを同時に発揮する頗もしいヤツ。女性の手でも木ネジがラクに締まります。次に、木ネジの上からダボを打ち込み、飛び出した部分を木面のツラに沿ってノコギりで切り落とすと組み立てはほぼ終了。脚部の強度を増すため、脚の下部に丸棒を通して、デザイン効果も高めます。ダボ打ちは初め

「入籠式テーブル(小サイズ)の作り方 ※中・大サイズも工程は同じ

6 ネジを締めた丸穴の中に木工用ボンドをつけ、木製ダボをさしこみ、木面のツラに沿って(飛び出したダボを)ノコギリで切る。



7 ダボを切った跡とテーブル全体にサンドベーパーをかけ、表面をなめらかに磨く。



\*インテリアに合わせた好みの色にペイントするとできあがり。



5 丸棒を地面のサイズ通りにノコギリで切り木工用ボンドをつけ、木面のツラに沿って(飛び出したダボを)ノコギリで切る。



3 丸穴の中心部に、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあける。



4 テーブルの天板と脚部の接着用木口に木工用ボンドをつけ、少し乾かしてから木ネジでとめる。(インパクトドライバーのプラスビットを使用)



1 木材に図面どおりにスミ入れして、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



2 ネジ締めの位置に、ドリルドライバーの木工用ビット(10mm)で深さ10mm程度の丸穴をあける。



丸棒を木ネジでとめる最後のひと打ち。ここができたら組み立て完成です。

ての理絵さんとカオルさんでしたが、この作業も加藤さんの指導でスムーズに進行。最後は、心優ちゃんも参加して、ダボ跡とテーブル全体をサンドベーパーできれいに磨いて作品完成です。最初は、3台も作るのって大変かな、と思いましたが、大きさが大・中・小と違うだけで、作り方

は同じ要領なので、思ったよりカンタンでした。電動工具がこれだけ揃えば、ほかにもいろいろ作りたくなりますね」と、毛塚家の女性チームはやる気いっぱい。残念ながら今は参加できなかつたお父さんも加わり、これから毛塚家には、手作りの作品が増えていきそうですね。



「心優もつだうよ」と、サンドベーパーでせっせと磨きます。

